

基本情報



【年 齢】
44歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
京都府京都市
【前 職】
美術ライター／編集者
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

大分市文化財課の「デジタルアーカイブの運用・利活用」という変わった募集が、自分が持っている興味・技術・経験と重なる部分が多かったからです。

また、コロナ禍になって以降、京都・東京の他に別府にも活動拠点を持つようになったのも大きいです。芸術文化に関わる仕事をしていると、抽象的で大きなフレームで人や物やことを理解しがちですが、そのなかには個人の営みや小さな文化・風土の積み重ねがあり、そういった事象と具体的に接する機会が欲しいと思っていました。

今後の抱負・任期後の目標

「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」は遠い過去の歴史だけでなく、現在進行形の歴史にも目を向け、収集するという主旨で運用しています。その意味でも、できるだけ多様な人たち（国籍、性別、趣味など）を取材し、個人の集積としての「おおいたの記憶」をつくっていききたいです。

また、いつか九州を拠点とするアート&カルチャーメディアを立ち上げたいと思っています。こういった情報発信が東京などの都市部に偏っており、その土地に住む人たちが自分自身について表現するための「声」をしばしば持たないことを疑問に思ってきました。当事者の主体性と客観性の双方をあわせもつメディアをつくっていききたいです。

活動内容

●「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」の運用・宣伝

2024年6月より、公式Instagramの運用を開始。週3回ほどの更新で、歴史に関するトリビアやイベントレポート、大分市にお住まいの方のインタビューなどを制作・発信しています。



●デジタルアーカイブを用いたイベントの企画・運営

公式インスタの運用開始にあわせて、ノベルティのオリジナルステッカーを2000枚制作し、大分市内各所で配布しています。名刺よりもキャッチーで、取材や仕事で自己紹介するときお渡しすると喜ばれるのも嬉しいです。

また、10月末には文化財課主催の「第23回大友氏遺跡フェスタ」でデジタルアーカイブにからめたトークイベントを行いました。



●オープンデータ化された文化資源情報の利活用の促進

市有形文化財の《御城下絵図》をTシャツやサコッシュのデザインに使っていただいたことがありました。このほかにも、新築マンションのロビー部分での歴史展示コーナー制作・設置についての問い合わせもあったり、想像以上にさまざまな用途に用いられています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
taisuke_shima@hotmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
「おおいたの記憶」公式Instagramはこちらです→

